令和７年度 第１回 千歳市地域協議会
次　第

日　時：令和７年８月３０日(土) １０時００分～
場　所：千歳市総合福祉センター

１　開　　会

２　あいさつ
　北海道総合政策部交通企画監　　斎藤　由彦
　千歳市副市長　　品田　雅俊

３　議　　題
（１）新千歳空港における最近の動向について
（２）令和６年度航空機騒音測定結果等について
（３）住宅防音対策の進捗状況等について
（４）地域振興対策の進捗状況等について
（５）新千歳空港周辺地域振興基金について
（６）その他

４　閉　　会

＜配付資料＞
資料１－１　新千歳空港における最近の動向について
資料１－２　新千歳空港の近況について
資料２－１　令和６年度航空機騒音測定結果について
資料２－２　令和６年度遅延便の深夜・早朝時間帯使用状況について
資料２－３　千歳市側と苫小牧市側の着陸の状況について
資料３　住宅防音対策の進捗状況等について
資料４　地域振興対策の進捗状況等について
資料５　新千歳空港周辺地域振興基金について
資料６　新千歳空港における「特定利用空港」への対応について

資料１－１

新千歳空港における最近の動向について

１　深夜・早朝時間帯における定期便の状況

（Ｒ７年夏ダイヤ：令和７年３月30日(日)～令和７年10月25日(土)）

航空会社	路線・運航時刻	運航日（８月末まで）	備 考
ＪＡＬ	羽　田 20:30 → **新千歳 22:05**	3/30-8/31	旅客便
	羽　田 20:40 → **新千歳 22:15**	3/30-8/31	旅客便
ＡＮＡ	羽　田 20:30 → **新千歳 22:05**	3/30-4/6、4/11、4/13、4/18、4/20、4/25-5/7 5/9、5/11、5/16、5/18、5/23、5/25、5/30 6/1、6/6、6/8、6/13、6/15、6/20、6/22、6/27、6/29 7/4、7/6、7/11、7/13、7/14、7/18-8/31	旅客便
ＡＤＯ	羽　田 20:50 → **新千歳 22:25**	3/30-8/31	旅客便
	羽　田 21:30 → **新千歳 23:05**	3/30-8/31	旅客便
	神　戸 20:05 → **新千歳 22:00**	3/30-8/31	旅客便
ＡＰＪ	成　田 20:10 → **新千歳 22:00**	8/25	旅客便
ＳＫＹ	羽　田 20:30 → **新千歳 22:05**	3/30-8/31	旅客便
ＳＪＯ	成　田 21:20 → **新千歳 23:05**	3/30-8/2、8/4-8/9、8/11-8/16、8/18-8/23 8/25-8/31	貨物便
	新千歳　1:20 → 羽　田 3:00	4/1-8/3、8/5-8/10、8/12-8/17、8/19-8/24 8/26-8/31	貨物便
	羽　田 4:30 → **新千歳　6:05**	4/1-8/31	貨物便

※JAL:日本航空、ANA：全日本空輸、ADO:エア・ドゥ、APJ：ピーチ・アビエーション、SKY:スカイマーク、
SJO：スプリング ジャパン

２　深夜・早朝時間帯における国際臨時・チャーター便の状況

（令和７年８月末現在）

国・方面		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
インドネシア	ジャカルタ	1	1									
	デンパサール	1										
韓国	仁川(ｲﾝﾁｮﾝ)	2								3		
	清州(ﾁｮﾝｼﾞｭ)		7									
	務安（ﾑｱﾝ）		11	27	27	4						
	済州(ﾁｪｼﾞｭ)			8	6							
香港	香港		1									
グアム	グアム	2				1						
フィリピン	マニラ				1							
オーストラリア	メルボルン									1		
合計		6	20	35	34	5	0	0	0	4	0	0

※Ｒ７は８月末までの計画値

新千歳空港の近況について

2025年８月１日現在　北海道エアポート株式会社　新千歳空港事業所

■ 2025年新千歳空港発着便数

- 国内路線は観光需要や帰省需要が順調に伸びる中で、航空会社は各路線の便数をコロナ前の水準に戻したといえる。
- 国際路線は冬季観光需要の増加（1－3月）に対応するように韓国・台湾・中国を中心に便数が回復し、前年の約1.5倍となり、過去を上回る便数となった。
  ４月以降は前年比110-130%で推移するが、観光閑散期となりコロナ前対比では67%前後に低下している。

	発着便数（便）					
	国内線	前年比	2019年比	国際線	前年比	2019年比
2025年1月	11,383	110.6%	103.3%	2,364	151.1%	111.2%
2025年2月	9,797	102.0%	97.9%	2,073	139.7%	106.5%
2025年3月	11,322	103.5%	100.6%	1,844	139.8%	97.0%
2025年4月	10,835	103.0%	99.0%	1,258	114.6%	67.4%
2025年5月	11,233	99.0%	98.3%	1,374	130.9%	66.7%
2025年6月	11,022	98.7%	98.7%	1,612	140.9%	82.1%

※本表、1月から６月データは北海道エアポート（株）作成の「新千歳空港の航空概況速報」を基に作成したものです。

■ 2025年新千歳空港旅客輸送実績

- 国内線は、2024年１０月以降、羽田路線の旅客数がコロナ前とほぼ同水準に回復、その傾向は2025年も継続し、国内旅客数は順調に伸びているが、海外乗り継ぎインバウンドを含む旺盛な観光需要が全体を底上げしている。
- 国際線において、北海道の冬季観光に対する海外インバウンド需要は韓国路線が牽引しており、加えて台湾・中国を中心としたアジア圏からの旅行客が大幅に増加してきた。地上業務の人手不足や燃油輸送体制などの課題解決に向けた取り組みも奏功したといえる。ただし、４月以降はコロナ前対比70-80%に低下し、季節偏差が顕著となっている。

	旅客輸送実績（人）					
	国内線	前年比	2019年比	国際線	前年比	2019年比
2025年1月	1,723,767	115.2%	108.9%	535,200	141.9%	121.7%
2025年2月	1,675,868	107.2%	107.2%	464,599	128.4%	112.9%
2025年3月	1,861,739	110.4%	106.8%	356,190	133.9%	104.7%
2025年4月	1,414,605	106.9%	98.9%	218,043	119.4%	79.9%
2025年5月	1,749,025	108.5%	99.0%	232,832	123.2%	73.4%
2025年6月	1,812,731	104.0%	103.0%	287,830	119.9%	86.1%

※本表、1月から６月データは北海道エアポート（株）作成の「新千歳空港の航空概況速報」を基に作成したものです。

資料２－１

令和６年度航空機騒音測定結果について

■ 令和６年度民航機Lden値

「新千歳空港の24時間運用に関する合意書」の確認事項に基づく、令和６年度の民航機Lden値の状況は次のとおりです。

（Lden値単位：dB）

区域	設置	測定局	24時間運用対策区域	24時間予測W	（参考）Lden換算値	令和６年度		令和５年度	
						年間Lden値	民航Lden値	年間Lden値	民航Lden値
千歳市	北海道	東郊	区域外	59		60	**51**	60	**44**
		梅ヶ丘	75 ～ 85W	75	62～70dB	59	**58**	59	**57**
		富丘	区域外	51		53	**32**	52	**33**
		稲穂	区域外	－		61	**39**	60	**41**
		根志越東	70 ～ 75W	70	57～62dB	55	**54**	55	**54**
		旭ヶ丘	75 ～ 85W	78	62～70dB	61	**59**	60	**58**
		駒里	補完（<70W）	58	57dB未満	49	**48**	48	**46**
		あけぼの	準対（<70W）	69	57dB未満	59	**48**	58	**47**
		弥生公園	75 ～ 85W	74	62～70dB	59	**57**	58	**56**
	千歳市	青葉丘	区域外	66		65	**44**	65	**45**
		住吉	区域外	60		63	**41**	63	**43**
		東雲	区域外	56		60	**38**	60	**39**
		寿	75 ～ 85W	76	62～70dB	60	**59**	60	**59**
		北斗	区域外	51		51	**27**	50	**29**
		里美	区域外	45		40	**13**	40	**22**
		駒里東	補完（<70W）	－	57dB未満	45	**43**	46	**42**
		根志越南	補完（<70W）	－	57dB未満	57	**47**	57	**48**
苫小牧市	北海道	植苗	75 ～ 85W	74	62～70dB	57	58	56	56
		ウトナイ	補完（<70W）	69	57dB未満	51	49	50	48
		美沢	補完（<70W）	64	57dB未満	46	46	46	45
		湖畔	70 ～ 75W	73	57～62dB	58	59	57	57
		斉藤宅	補完（<70W）	66	57dB未満	44	44	44	43
		植苗公園	70 ～ 75W	－	57～62dB	52	52	51	50
		勇払	区域外	64		50	51	49	49
		沼ノ端東雲	準対（<70W）	－	57dB未満	53	53	53	52
		勇払東	区域外	－		50	51	49	49
	苫小牧市	植苗会館	70 ～ 75W	69	57～62dB	49	49	50	48
		丹治沼	75 ～ 85W	78	62～70dB	58	59	58	58
		琥珀荘	70 ～ 75W	70	57dB未満	50	50	49	48
		沼ノ端東	補完（<70W）	68	57dB未満	54	55	51	50
		沼ノ端	補完（<70W）	67	57dB未満	50	48	53	53
		糸井	区域外	－		36	25	36	24

【参考】Lden57dB = WECPNL値70、Lden62dB = WECPNL値75

○ 民航機Lden値の算出方法について

・新千歳空港周辺における航空機騒音の監視は、環境基準の評価を目的として、新千歳空港及び隣接する千歳飛行場を使用する航空機の騒音を測定することにより行っていることから、民航機の騒音だけを識別したり分離して把握することは困難である。
・そのため新千歳空港を離着陸する航空機の騒音を把握する方法として、千歳飛行場に係る自衛隊機（ジェット戦闘機）の離着陸のなかった日を民航機の航空機騒音を測定した日とみなし算出対象とし、対象日毎のLdenの全ての値をパワー平均し、これを民航機の年間Ldenとしている。
・令和６年度の集計対象日数は140日である。（令和５年度:151日）

○ パワー平均値について

・環境基準に係る航空機騒音の評価も、測定された１機毎の単発騒音暴露レベルから1日毎のLden値を算出し、1年間のその全ての値をパワー平均して行うこととしている。

〈計算式〉

$$\overline{Lden} = 10\log_{10}\left(\frac{1}{N}\sum_{i} 10^{Lden_i/10}\right)$$

$\overline{Lden}$ ：パワー平均値
$Lden_i$ ：各データ値
N ：測定日数

資料2－2

令和6年度 遅延便の深夜・早朝時間帯使用状況について

1 航空会社別便数

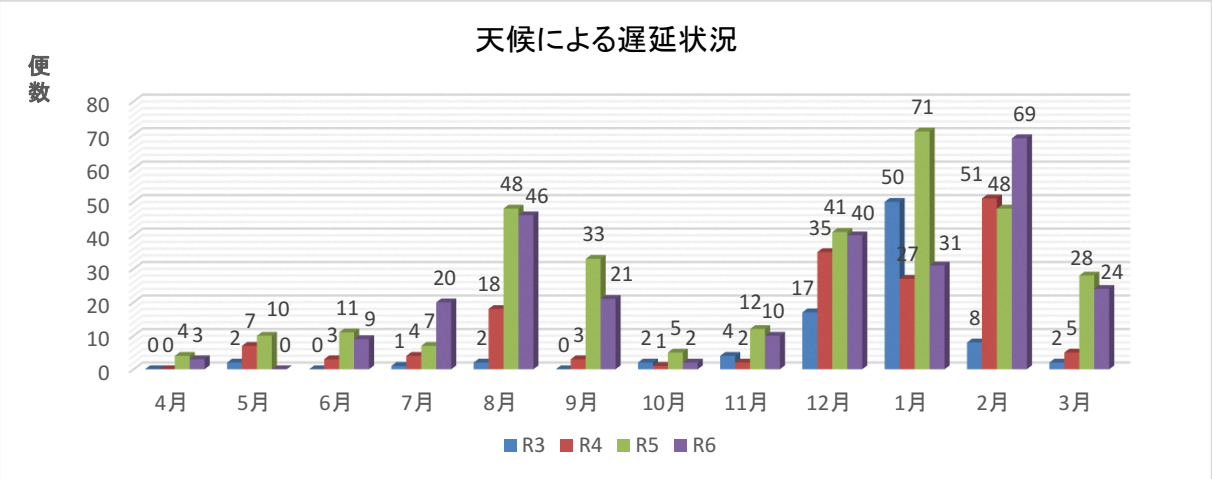
	JAL	ANA	ADO	SKY	その他（国 内）	その他（国 際）	計
R3	45 (26%)	26 (15%)	64 (38%)	14 (8%)	21 (12%)	0 (0%)	170
R4	73 (19%)	92 (24%)	163 (42%)	15 (4%)	38 (10%)	5 (1%)	386
R5	180 (25%)	217 (30%)	226 (32%)	37 (5%)	49 (7%)	8 (1%)	717
R6	194 (27%)	376 (52%)	105 (14%)	18 (2%)	26 (4%)	10 (1%)	729

※（　）内は構成割合

2 理由別便数

	天　候	機材繰り	機材故障	出発準備作業遅れ	航空管制等	その他	計
R3	88 (52%)	45 (26%)	25 (15%)	5 (3%)	2 (1%)	5 (3%)	170
R4	156 (40%)	151 (39%)	33 (9%)	17 (4%)	13 (3%)	16 (4%)	386
R5	318 (44%)	220 (31%)	54 (8%)	27 (4%)	12 (2%)	86 (12%)	717
R6	275 (38%)	246 (34%)	59 (8%)	31 (4%)	26 (4%)	92 (13%)	729

※「その他」の主な内訳　：乗務員の接続遅れ、他便乗客等の救済、空港施設の混雑、搭乗の取止め、誘導路の混雑、緊急事態　など



3 時間帯別便数

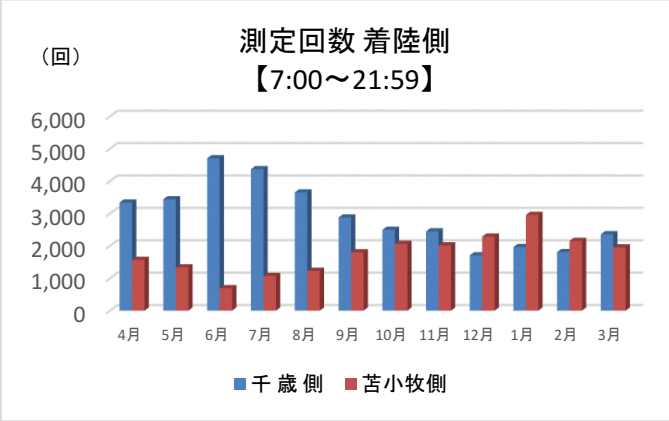
	22:00～22:19	22:20～22:39	22:40～22:59	23:00～23:19	23:20～23:39	23:40～23:59	0:00～5:59	6:00～7:00	計
R3	74 (44%)	43 (25%)	22 (13%)	11 (6%)	4 (2%)	7 (4%)	9 (5%)	0 (0%)	170
R4	213 (55%)	72 (19%)	45 (12%)	20 (5%)	15 (4%)	8 (2%)	13 (3%)	0 (0%)	386
R5	322 (45%)	173 (24%)	98 (14%)	43 (6%)	29 (4%)	27 (4%)	25 (3%)	0 (0%)	717
R6	377 (52%)	177 (24%)	88 (12%)	39 (5%)	16 (2%)	11 (2%)	21 (3%)	0 (0%)	729

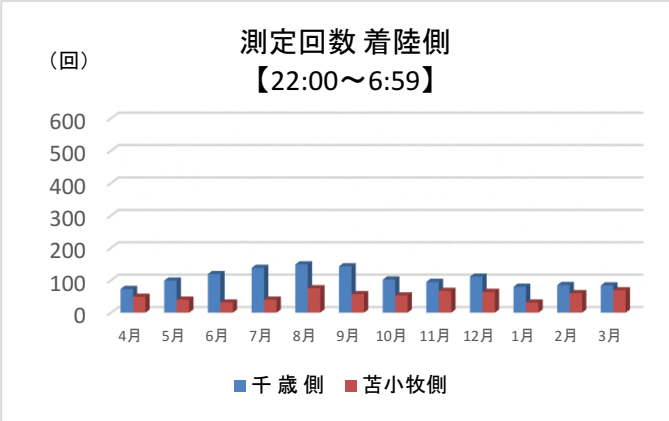
資料2－3

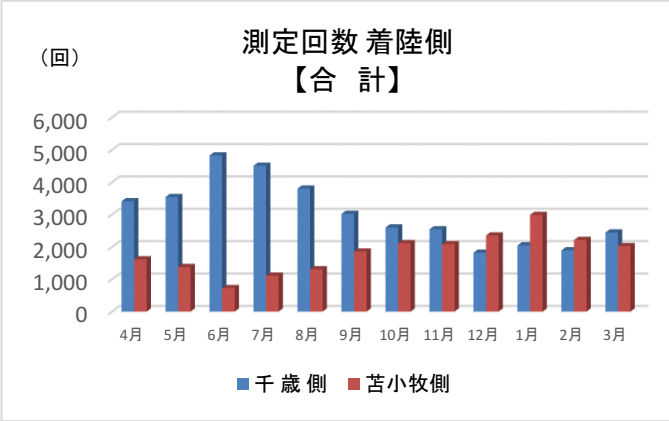
千歳市側と苫小牧市側の着陸の状況について

■ 令和６年度 航空機騒音測定回数（着陸側）

区　分	着陸側	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
7:00～21:59	千 歳 側	3,335	3,438	4,703	4,366	3,649	2,875	2,495	2,446	1,706	1,962	1,807	2,358	35,140
	苫小牧側	1,565	1,334	693	1,070	1,229	1,798	2,062	2,013	2,286	2,955	2,152	1,951	21,108
22:00～6:59	千 歳 側	73	99	119	138	149	143	102	95	111	80	85	84	1,278
	苫小牧側	49	40	31	40	75	57	53	67	64	31	60	69	636
合　計	千 歳 側	3,408	3,537	4,822	4,504	3,798	3,018	2,597	2,541	1,817	2,042	1,892	2,442	36,418
	苫小牧側	1,614	1,374	724	1,110	1,304	1,855	2,115	2,080	2,350	2,986	2,212	2,020	21,744







・着陸方向については、千歳側は「旭ヶ丘局」、苫小牧側は「植苗局」を代表測定局として、双方の計測値から判断した。
　また、集計数についても、双方の測定局における計測値に基づき算出した。

・離陸方向については、千歳側から離陸する航空機が東京方面等へ南下する場合、千歳側での旋回後に苫小牧側に向かうため、双方の測定局で計測されるケースが多く、計測値からは正確な離陸回数を判断できない。

資 料 ３

住宅防音対策の進捗状況等について

１　令和６年度の実績等

区　分		意向調査回答数	工事実績			R6までの実施率	R7計画数	計	R7までの実施率
			～R5	R6	R5繰越分				
千歳市	一般住宅	1,760	762	95	8	48.7%	107	964	54.8%
	世帯数	1,803	788	97	8	49.1%	110	995	55.2%
	集合住宅	145	60	9	2	47.6%	5	74	51.0%
	世帯数	969	444	82	16	54.3%	29	555	57.3%
	計	1,905	822	104	10	48.6%	112	1,038	54.5%
	世帯数	2,772	1,232	179	24	50.9%	139	1,550	55.9%
苫小牧市	一般住宅	297	139	13	1	51.2%	17	169	56.9%
	世帯数	305	140	14	1	50.5%	18	172	56.4%
	集合住宅	7	3	0	0	42.9%	0	3	42.9%
	世帯数	83	34	0	0	41.0%	0	34	41.0%
	計	304	142	13	1	51.0%	17	172	56.6%
	世帯数	388	174	14	1	48.5%	18	206	53.1%
合計	一般住宅	2,057	901	108	9	49.1%	124	1,133	55.1%
	世帯数	2,108	928	111	9	49.3%	128	1,167	55.4%
	集合住宅	152	63	9	2	47.4%	5	77	50.7%
	世帯数	1,052	478	82	16	53.2%	29	589	56.0%
	計	2,209	964	117	11	48.9%	129	1,210	54.8%
	世帯数	3,160	1,406	193	25	50.6%	157	1,756	55.6%

２　防衛省官舎（寿官舎）に係る防音工事

官　舎	住　　所	R4	R5	R6	R7	計
１号棟	寿２丁目１５			6	6	12
２号棟	寿２丁目１６		10	30	5	45
３号棟	寿２丁目１７	11	25	3	1	40
４号棟	寿１丁目１４	29	5	1		35
計（世帯数）		40	40	40	12	132

３　令和７年度現地調査（千歳市）

区　　分	R6までに実施済	第1次 (4/18-24)	第2次 (7/1-8)	第3次 (9/2-10)	計
一 般 住 宅	22	31	28	33	114
集 合 住 宅	1	1	1	5	8
計	23	32	29	38	122

※第１次、第２次は実施件数、第３次は予定件数

４　集会施設（町内会館）に係る防音工事（千歳市）

会　館　名	工事実施時期（予定）	工　事　内　容
弥生町内会館	令和５年 ＜実施済＞	「集会室」（防音建具機能復旧）
寿町内会館	令和６年 ＜実施済＞	「集会室」（防音建具機能復旧）
若 葉 会 館	令和７年	「集会室」（防音建具機能復旧）
旭ヶ丘町内会館	令和８年	「集会室」（新規住宅防音工事）
日の出南町内会館	令和９年	「集会室」（新規住宅防音工事）
あけぼの団地町内会館	令和10年	「集会室」（防音建具機能復旧）

【参 考】

＜住宅防音工事の流れ＞

時期	工事実施前年	工事実施（施工）年	
	４月 ～ ９月	～３月	４月 ～ １２月
内容	現 地 調 査		工事（施工）
	設計・設計審査		

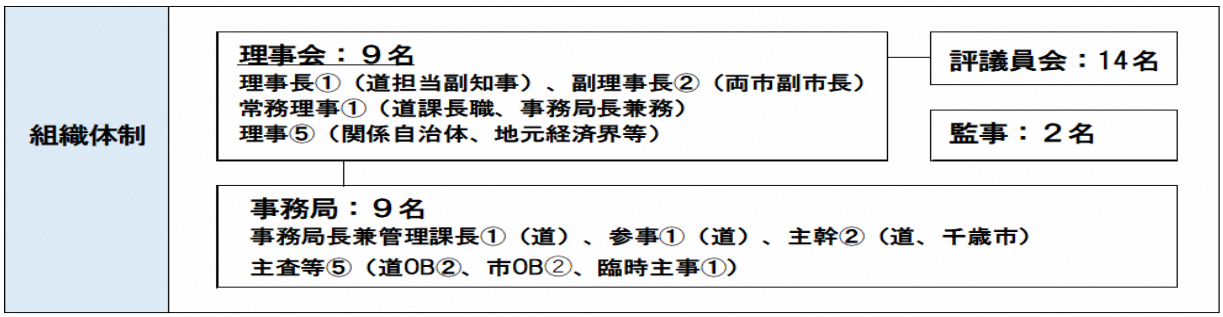
【実施方針】

■ 意向調査提出者を以下の評点基準により順位付けし、そのうちの上位の方から工事を実施
■ １年目に現地調査・設計を行い、２年目に工事を実施（施工）
■ 対象世帯に対し、現地調査の直前に「候補住宅通知書」を送付

［評価基準］
・騒音の影響の大きい地域
・障がい者や要介護者・高齢者（６５歳以上）・乳幼児が居住する住宅
・内窓や冷房装置の設置工事のみを希望する場合（補完工事含む）　等

※ 状況により調査や工事（施工）の時期がずれる可能性があります。
※ 工事実施予定時期等ついては、こちらにお問い合わせください。
新千歳空港周辺環境整備財団　0123-42-2400

＜（公財）新千歳空港周辺環境整備財団 組織図＞



資 料 4

地域振興対策の進捗状況等について

（千歳市空港周辺地域生活環境等対策基金）

1 事業の概要等

区　分	内　　容
基金の総　額	26 億円（毎年 2.6 億円を財団に積立→10 年間で造成） ※ 道と千歳市から基金造成補助金として財団に支出
基　金による事　業	千歳市空港周辺地域生活環境等対策基金の設置及び助成金の交付 ① 防音機能維持・拡充等対策事業 ～生活環境の安定・向上に資する工事 原則、住宅防音工事（本体工事･補完工事）とセットで実施 ② 防音機能確保対策事業 ～Ｃ工法の区域のうち、合意書で示した区域において、Ｂ工法に嵩上げする工事 ③ 生活環境整備等事業 ～地域における調和ある発展のための施設整備等

2 事業の執行状況等

項　　目	～R5 年度（実 績）	R6 年度（実 績）	R7 年度（見 込）	合　計
歳　　入　　A	2,080,000,000	260,000,000	260,000,000	2,600,000,000
執 行 額　　B	878,719,010	83,345,490	72,000,000	1,034,064,500
繰 越 額　　A-B	1,201,280,990	176,654,510	188,000,000	1,565,935,500

3 事業の進捗状況等

事　業　名	進捗状況	予 算（ 執 行 ）額		
		～R5（実績）	R6（実績）	R7（見込）
防音機能維持･拡充等対策事業 防音機能確保対策事業	～R5（実績） 639 件 R6（実績） 80 件 R7（見込） 72 件	676,541,288	83,345,490	72,000,000
生活環境整備等事業				
根志越ｴｱｶｰｺﾞ対策協議会（根志越） 根志越温泉施設改修事業	H29 年度整備完了 （H29.11 月完成）	60,000,000		
根志越ｴｱｶｰｺﾞ対策協議会（中央長都） 中央釜加線道路整備事業	R3 年度整備完了 （R3.11 月完成）	42,196,000		
駒里連合会 駒里町内会館改修等事業	H30 年度整備完了 （H30.8 月完成）	60,000,000		
祝梅町内会 祝梅第一道路整備事業	H28 年度整備完了 （H28.12 月完成）	39,981,722		
合　　計		878,719,010	83,345,490	72,000,000

資 料 5

新千歳空港周辺地域振興基金について

１　基金の概要

造成目標額	令和６年度末 造成済額	残　　額
３０億円	１９億５，９７０万円	１０億４，０３０万円

・ 道内で事業を展開する企業を中心に約７０社に協力を要請

・ 平成２８年度～令和３年度で１７社から総額１億１，７５０万円の寄附

【主な寄附企業】

(株)ニトリ	(株)ＪＴＢ北海道
伊藤組土建(株)	(株)近畿日本ツーリスト北海道
(株)ツルハホールディングス	(株)日本旅行北海道
(株)アインホールディングス	(株)リクルート北海道じゃらん
サツドラホールディングス(株)	ＹＫＫ　ＡＰ（株）
(株)ラルズ	北海道中央バス（株）
(株)ローソン	(株)ＡＩＲＤＯ
(株)エクセルシャノン	

２　基金造成に向けた取組

・ 新型コロナウイルス感染症による社会情勢を踏まえ、企業等に対する協力要請を中断していたが、昨年度(令和６年度)より、経済界等との協議を踏まえ、基金の確保に向けて寄附要請活動を再開

資料６

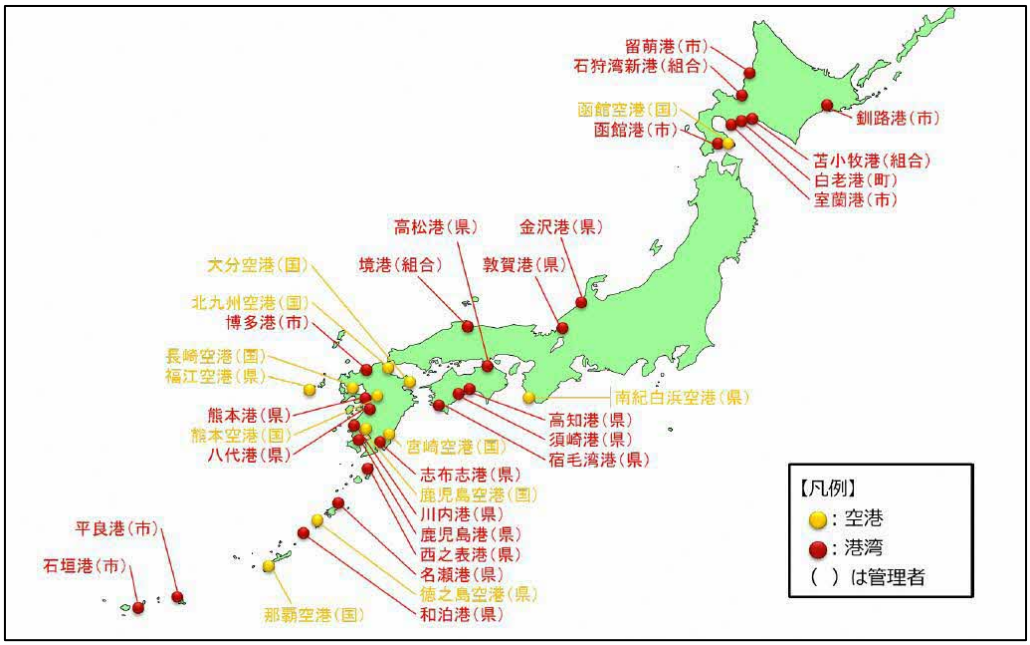
新千歳空港における「特定利用空港」への対応について

１．「特定利用空港・港湾」の概要

国は、自衛隊・海上保安庁が、平素から必要な空港・港湾を円滑に利用できるよう、国と施設管理者との間で「円滑な利用に関する枠組み」を設け、これらを「特定利用空港・港湾」とし、当該空港・港湾については、民生利用を主としつつ、自衛隊・海上保安庁の航空機・艦船の円滑な利用にも資するよう、必要な整備又は既存事業の促進によって、空港・港湾の利便性の確保や機能の強化を図るとしている。

２．全国の選定状況

令和７年４月１日現在、全国で 11 空港及び 25 港湾が選定されている。



３．国から本市への説明

令和７年６月 11 日、国（内閣官房、国土交通省、海上保安庁及び防衛省）から千歳市及び苫小牧市に対して、新千歳空港（国管理）を「特定利用空港」の対象候補として検討しているとの説明があった。

【国の説明内容】

- これまでの空港の運用は変わらず、円滑な利用に関する枠組みの確認は、あくまで民生利用との調整を図りつつ、自衛隊や海上保安庁の利用を適切に取り扱うことを確認するものであり、自衛隊や海上保安庁が優先利用するものではない。
- 自衛隊や海上保安庁が空港の状況に精通することで、災害時に迅速な対応が可能となり、能力を最大限に発揮することが期待できる。
- インフラの整備は、あくまで民生利用を主とした整備であり、自衛隊や海上保安庁専用の施設を整備するものではない。

４．本市の対応

新千歳空港は国管理空港のため、今後の「円滑な利用に関する枠組み」についての確認は関係省庁間での手続となり、市が連絡・調整体制の構成員とならないことから、地域の不安や懸念が生じることがないよう、市や地域への丁寧な説明と情報提供を行うことを国に申し入れた。